



ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和3年9月2日

第31回 稚内開発建設部総合評価審査委員会の 審議概要について

令和3年7月29日に開催した、第31回 稚内開発建設部総合評価審査委員会の議事概要を別紙のとおりお知らせいたします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 稚内開発建設部

技術管理課 課長 たちばな のぶいち 橋 暢一 電話 0162-33-1031

技術管理課 課長補佐 ますだ ひろあき 増田 浩明 電話 0162-33-1086

稚内開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/wk/>

稚内開発建設部公式 Twitter アカウント https://twitter.com/mlit_hkd_wk



第31回 稚内開発建設部総合評価審査委員会 審議概要

開催日及び場所	令和3年7月29日(木) 稚内地方合同庁舎(ビデオ会議)	
委員長	○井上 京 (北海道大学大学院教授)	
委員	宮武 誠 (函館工業高等専門学校准教授)	
委員	高橋 翔 (北海道大学大学院准教授) (○印は委員長)	
議事	<p>1 令和2年度総合評価落札方式の入札工事・業務(上半期)について</p> <p>2 個別審議</p> <p>抽出工事の審議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道238号 猿払村 知来別北改良工事 ・鴛泊港外1港南防波堤改良その他工事 ・勇知地区 勇知川排水路8線工区外工事 ・稚内開発建設部管内 道路整備計画検討業務 ・一般国道238号 浜頓別町 浜頓別橋補修設計外一連業務 <p>委員からの意見・質問、それに対する回答 (応札者の提案又は、その評価に係わる内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載していません。)</p>	
	意見・質問	回 答
個別審議	抽出された工事3件、業務2件について概要説明及び審議を行った。	
①一般国道238号 猿払村 知来別北改良工事 (施工能力評価型I型 登録基幹技能者評価型)	<ul style="list-style-type: none"> ・落札した者の技術提案について、提案通り実施されているか確認しているか。 ・技術提案項目として地盤改良の品質管理を設定しているが、工事全体に対する施工量は比較的小さいと見受けられる。この設問は妥当か。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・提案を受けた内容は特別契約書に記載し履行を義務づけている。さらに、施工中及び完成検査時に履行を確認することになっている。 ・現地盤の軟弱なところで盛土をすると沈下や、盛土端部で滑りが発生することがあるので、基礎となる部分を固めて沈下や滑りが起こらないようにしてから盛土を行うこととしており重要な項目であり、その施工管理方法について提案を求めている。 	

意見・質問	回 答
<p>②鴛泊港外1港南防波堤改良その他 工事 (施工能力評価型I型 若手技術者評価型)</p> <p>・それぞれ異なる新技術を用いた施工について提案がされている。これらのうち、いずれの方がより効果的な技術であるか評価する必要はないのか。</p> <p>・今回は企業自体の評価はほぼ同等で、配置予定技術者の年齢により順位に差がついた形である。</p> <p>・配置技術者の評価方法について、JVの場合は点数の低い方の点数を採用することとなっているが、その根拠如何。</p>	<p>・参加した者が工事施工に足る能力を有しているかを評価するものであり、いずれかの技術の優劣を評価するものではない。それぞれ提案された技術の効果が確認できれば評価する。</p> <p>・若手技術者育成を目的とした入札が効果的に表れたものである。</p> <p>・本局から示されている標準評価方法を根拠としている(「総合評価落札方式の考え方について」(北海道開発局事業振興部工事管理課))。</p>
<p>③勇知地区 勇知川排水路8線工区 外工事 (施工能力評価型I型 施工計画重視型)</p> <p>・疑義なし。</p>	

意見・質問	回 答
<p>④稚内開発建設部管内 道路整備 計画検討業務 (標準プロポーザル)</p> <p>・特定テーマとして他地域の好事例の記載を求めているが、記載していない者が多い。設問が難しいということなのではないか。</p>	<p>・宗谷地域の課題解決に向けた検討手法のひとつとして、他地域の好事例を活用した提案を期待していたが、これ以外の項目を優先した提案となったため当該項目は省略されたものと理解している。</p>
<p>⑤一般国道 238 号 浜頓別町 浜頓別橋補修設計外一連業務 (標準プロポーザル)</p> <p>・業務全体の概算金額はどのように設定しているのか。また、その価格が適正であることをどのように確認しているのか。</p>	<p>・類似業務の歩掛や過年度の契約状況などを勘案して設定している。また、金額の妥当性は、入札後に見積額と実態との比較等により確認している。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

【抽出された工事・業務については、適切な評価として認める】